



ちばの学童保育

2012年5月13日発行91号

本号の紙面
全国指導員学校/総会 案内 1頁
ほいく誌紹介/我孫子市学童保育指
導員組合 2頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

第37回 全国学童保育指導員学校・南関東会場



日にち:2012年6月3日(日)10:00~16:00

会場:東京経済大学(国分寺キャンパス)JR 国分寺駅から徒歩10分

受講料:2,000円

全体会 全体講義:山本博美さん「今あらためて問う、学童保育とは ~つながりの中で育ちあう」

午後の講座は、昨年同様19講座を予定

学童保育とは...等の入門講座。子どもの発達や障害などについて学ぶ理論講座。具体的な保育の実践の中から学び合う、指導員が講師を務める実践講座。工作、遊び、読み語りなどの実技講座。学童保育の情勢を学ぶ、指導員のチームワークを考える、の2つの特別講座を用意しています。

是非、ご参加ください。

リーフレット希望の方は、県連協まで。

2012年千葉県学童保育連絡協議会総会

千葉県学童保育連絡協議会では、下記の通り総会を行います。皆さんご参加ください。

2012年6月17日(日)13:00~16:00

葛飾公民館:船橋市西船3-6-25(JR西船橋駅下車徒歩約10分/京成西船駅下車徒歩約7分)

各地域より1名以上の常任幹事の選出をお願いします。県連までご連絡ください。
(当日も受け付けます。)

日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



5月号表紙

5月号特集「語って笑って楽しんで 育ち合う父母会」です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

今回の特集では、各地の父母会活動が紹介されています。実際に交流することで、学童保育を支える父母会の大切さが再確認できます。また、保護者だけでなく、指導員の立場からみた父母会も紹介されています。特に今回、千葉県から四街道市学童保育所父母の会が「やっぱり父母の会は大切な存在」として掲載されています。



《我孫子市学童保育指導員組合 紹介》

私たちは学童保育が民営だった頃から、指導員会として保護者と共に子どもたちの成長を見守りながら活動してきました。平成8年に父母会運営から公設公営に事業になり、市の嘱託職員となりましたが、指導員の身分や待遇、仕事の内容などについて、不十分な事がたくさんあり、このままではいけないという強い思いから、平成12年、それまでの活動を礎に、組織を任意団体から組合へと移行しました。

指導員組合は、スタッフ同士の絆を大切に、「ひとりひとりのために、みんなはひとりのために」をモットーに活動しています。

労働条件・自らの資質の向上や、環境を整え保育内容をより充実させるため、担当課や市長と交渉したり、保護者の代表である市連協の役員さんたちと話し合いをしてきたりしています。また、毎月の定例会で、情報交換や対応に苦慮していることなど相談し合ったり、学習部会・広報部会・ハンドベルや折り紙のサークル活動を通して、スタッフ間で学びあいや交流をすることが、日々の保育にとっても役立っています。

年度始めには全スタッフ参加自由の交流会、秋には臨時・非常勤協議会主催のバスハイク、冬にはケーキ付き茶話会(仕事をする時に役立つ?靴下のちよっぴりプレゼント付き)、新年には担当課職員を招いて、大賑わいの楽しい懇親会(ハンドベルサークルの皆さんがきれいな音色を奏でて、練習の成果を披露してくれています)etc、日頃なかなか会えないスタッフの親睦を図っています。

今、我孫子市の放課後対策事業は、全児童対象の「あびっこクラブ」を含めた事業へと変遷しています。「学童保育」と「あびっこクラブ」の一体運営が進んでいく中で、ただ流されるのではなく、それぞれの事業の本来の目的を再確認し、どのような運営の仕方が望ましいのか、子どもの立場に立って考えていく必要があります。

子どもたちにとって、安心・安全な楽しい居場所を作っていくこと

保護者が安心して預け、働くことができること

スタッフが安心して働き続けられること

を目指して、これからも活動していきます。